

福生市の子育て支援策は人口減少にはまだ「奏功」せず 日経新聞の報道記事には誤りあり

9月市議会の一般質問で、正和会、公明党の2人の議員がそれぞれ日経新聞（8月27日付）の記事を取り上げ、福生市の若年女性（15才から29才）人口が増加したことで、福生市の「子育て支援策が奏功」した、素晴らしいという発言をしました。

市長も答弁の中で、「8月27日の日経新聞の記事を紹介していただきまして、大変ありがとうございます。私もその記事に接して大変驚くとともに、すごく嬉しかったものですから、今も記事を持っているのですよ。お守り



代わりに財布の中にいつも入れています…」と述べました。

私は議場でのこのやり取りを聞いていて疑問に思いました。福生市の人口減少（子どもと子育て世代の減少が大きい）が20年以上続いていることは議員も市長も知っているはずなのに…。私は今まで、福生市の深刻な人口減少をくい止め、増勢に転化させるために、更なる子育て支援策が必要と訴えてきましたので、事実関係を検証し、12月市議会の一般質問でこの問題を取り上げました。《裏面へ続く》

日本共産党 福生市議会議員
池田 公三
いけだ こうさう

がご相談に 응じます。

相談の日時は調整いたします。



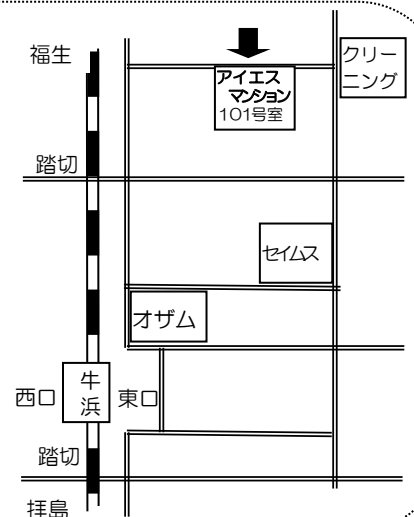
日本共産党 福生市議団ニュース

福生市議 池田公三
☎ 090-7946-5137
2022年 12月 号外

なんでも生活相談

12月のなんでも生活相談会のお知らせです。日々の生活で困っているのに、誰にも相談できずにいる方はいらっしゃいませんか。どうぞお気軽にご相談ください。

日時 12月21日（水）午後7時から
場所 池田公三事務所（駐車場あります）
福生市志茂115 アイエスマンション101号室
Tel 042-530-0705



福生市の若年女性人口の増減

資料1

(日本人・外国人別 2015年～2020年 5年間の増減)

国勢調査のデータから算出

調査年度		総数	女性	男性
		15才～29才	7,744	3,614
平成27年 (2015年)	内日本人	7,311	3,411	3,900
	内外国人	433	203	230
	全年代	58,395	29,157	29,238
	内日本人	55,060	27,453	27,607
令和2年 (2020年)	内日本人	3,335	1,704	1,631
	内外国人	8,845	4,282	4,563
	全年代	7,647	3,716	3,931
	内日本人	1,198	566	632
増減	全年代	56,414	28,391	28,023
	内日本人	52,577	26,399	26,178
	内外国人	3,837	1,992	1,845
	15才～29才	1,101	668	433
	内日本人	336	305	31
増減	内外国人	765	363	402
	全年代	-1,981	-766	-1,215
	内日本人	-2,483	-1,054	-1,429
	内外国人	502	288	214

- ・ 15才～29才の若年女性はこの5年間で668人増加しています。
- ・ そのうち、日本人女性は305人、外国人女性は363人でした。
- ・ 福生市の人口全体では1,981人の減少、日本人は2,483人の減少、外国人は502人の増加でした。

国勢調査では増加

日経新聞の記事は、2015年と2020年の国勢調査結果から、福生市の若年女性（15才～29才）人口が増えたとして、「子育て支援策奏功」と報じています。確かに、国勢調査では、2020年の福生市の若年女性は668人増加でした。（資料1）

住民基本台帳では減少

しかし、福生市がホームページで公表している住民基本台帳から算出すると、102人減少しているのです。若年女性人口は増加ではなく減少しているのです。（資料3）しかも、この期間は、外国人語学研修生が多数福生市に転入してきた時期です。（資料4）2年間の短期ビザで来日していますので、福生市の子育て支援策の恩恵を受けることは考えにくく、子育て支援策の人口減少対策効果を評価する際には除外して考えるべきです。日本人の若年女性人口は259人の減少となり、減少幅は大きくなります。

福生市の若年女性人口の増減

資料3

(日本人・外国人別 2017年～2020年 3年間の増減)

住民基本台帳から算出

調査年度		総数	女性	男性
		15才～29才	10,209	4,842
平成29年 (2017年)	内日本人	8,651	4,173	4,478
	内外国人	1,558	669	889
	全年代	58,554	29,218	29,336
	内日本人	55,195	27,524	27,671
令和2年 (2020年)	内日本人	3,359	1,694	1,665
	内外国人	9,853	4,740	5,113
	全年代	8,131	3,914	4,217
	内日本人	1,722	826	896
増減	全年代	57,617	28,832	28,785
	内日本人	53,808	26,878	26,930
	内外国人	3,809	1,954	1,855
	15才～29才	-356	-102	-254
	内日本人	-520	-259	-261
増減	内外国人	164	157	7
	全年代	-937	-386	-551
	内日本人	-1,387	-646	-741
	内外国人	450	260	190

・平成28年以前の住民基本台帳では、年齢別の日本人・外国人別人口が把握されていないため、平成29年からの3年間を比較した。

・15才～29才の若年女性は-102人と減少している。日本人若年女性は-259人と大きく減少している。5年間比較で61人増加（資料2）はおそらく外国人の増加が日本人減少を上回ったものと考えられる。

・福生市の外国人は平成26年から令和元年まで連続して増加し、令和2年からは減少傾向である。外国人語学研修生、外国人技能実習生の増減が主な内容と思われる。

加藤市長の発言は名誉棄損

加藤市長はこのことをもって、「人種差別だ」と発言しましたが、全くの的外れです。本会議場での私に対する名誉棄損発言であり、直ちに抗議し撤回を求めました。

更なる子育て支援策必要

したがって、日経新聞の「福生、子育て支援策奏功」の記事は誤りと言わなければなりません。福生市の子育て支援策は、少なくとも人口減少対策としては「奏功」していません。

「福生市子ども・子育て支援事業計画」でも、子育てで不安に感じることの1位が「経済的な負担が大きい」と認めているのです。それでも、新たな市独自の子育て支援策がないのです。一方、人口減少は毎年500人を超え、深刻です。今、学校給食費無償化など、福生市の財政力を生かした力強い支援策が求められています。

福生市の人口推移 (日本人・外国人別) 1月1日現在

資料4

住民基本台帳から算出

	平成25年 2013年	平成26年 2014年	平成27年 2015年	平成28年 2016年	平成29年 2017年	平成30年 2018年	平成31年 2019年	令和2年 2020年	令和3年 2021年	令和4年 2022年
総人口	59,124	58,821	58,553	58,613	58,554	58,384	58,243	57,617	57,024	56,274
前年比増減	-328	-303	-268	60	-59	-170	-141	-626	-593	-750
内日本人	56,724	56,288	55,841	55,588	55,195	54,722	54,427	53,808	53,403	52,892
前年比増減	-285	-436	-447	-253	-393	-473	-295	-619	-405	-511
内外国人	2,400	2,533	2,712	3,025	3,359	3,662	3,816	3,809	3,621	3,382
前年比増減	-43	133	179	313	334	303	154	-7	-188	-239

- ・人口増加は緑色、減少は薄赤色
- ・福生市の総人口は平成28年を除いて減少傾向が続いている。
- ・日本人人口は毎年数百人の規模で減少している。
- ・令和2年以降は、外国人も減少傾向になったため、総人口は大きく減少している。